

癌化学療法約束処方 卵巣29

癌種 卵巣癌(再発)
登録No. 卵29 Bv + nogitecan

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与時間	投与経路	投与日	1コースの期間
ハイカムチン	ノギテカン塩酸塩	—	1.25 mg/m ²	30 分	末梢	DAY 1,2,3,4,5	21日
アバスチン	ベバシヅマブ	Bv	15mg/kg	90分→60分→30分	末梢	DAY 1	21日

< DAY 1 >

- ① NS 50 ml + デキサート1V / 5分
- ③ NS 100 ml + ハイカムチン _____ mg / 30分
- ④ NS 50 ml / 5分
- ⑤ NS 100 ml + アバスチン _____ mg / (1コース目90分、2コース目60分、3コース目以降30分)
- ⑥ NS 50 ml / 5分

< DAY 2,3,4,5 >

- ① NS 50 ml + デキサート1V / 5分
- ③ NS 100 ml + ハイカムチン _____ mg / 30分
- ④ NS 50 ml / 5分

【備考】① 本レジメンは、**プラチナ耐性再発症例**に用いる。

② 総コース数の制限はなし。

【ハイカムチンの減量基準】

- ① Grade 4の血液毒性発現時: 1.25mg/m²→1.0mg/m²→0.75mg/m²
- ②腎障害時: Ccr40~59: 1.00mg/m²、Ccr20~39: 0.5mg/m²、Ccr20以下は中止。

【アバスチンの休薬・中止基準】

- ①好中球数<1500/mm³、血小板数<10万/mm³、発熱38℃以上、Grade3以上の非血液毒性の発現時は中止。
- ②Grade2以上の高血圧(収縮期血圧>150mmHgまたは拡張期血圧>90mmHg): 薬物治療を開始しコントロール可能となるまで休薬。
G4未満の臨床症状を有する高血圧が、1週間以上継続する場合はアバスチンを中止。
- ③Grade3の蛋白尿: G2以下(UPC比<3.5)に回復するまで休薬。
尿タンパクによる休薬が2ヶ月を超えた場合はアバスチンを中止。

H28.1.18改訂